

キッズゴルフ

プロジェクトニュース 第4号

2004年3月24日発行

発行 = 日本ジュニアゴルファー育成協議会

ジュニアゴルファー育成は、いま、フォローウィンド！

低迷を続けるゴルフ界の活性化を図るため、～始めよう、続けよう、もっとゴルフを～を合言葉に関連団体では様々な施策が講じられている。

我々、JGC・日本ジュニアゴルファー協議会は～始めよう～に対応する活動、即ち、底辺拡大の一つの施策として、ジュニアゴルファーの育成を目指している。中でも幼少時からゴルフに接する機会を提供しようと『誰でも・何処でも・簡単に・しかも安全に』親しめるツールとして、現在世界各国でジュニアゴルファー育成活動に採用されているスナッグゴルフを以ってその活動に当たっている。我々の活動は単にジュニアゴルファーの誕生と育成に留まらず、ゴルフの持つ様々な特性から、子どもたちへのライフスキルにとっても有効なツールと成りえるものであり、と同時にゴルフの持つ社会性が見直されるようになった今日、様々なメディアからもJGCのジュニアゴルファー育成活動は注目を浴びている。

・キッズゴルフ・プロジェクトがNHK総合TVニュースでの報道。 (03.12.16)

キッズゴルフ・プロジェクトの活動内容がNHK総合TV「ニュース10」で紹介された。アクションチーム会議の様子、チェアマンのコメント、スナッグゴルフ導入講習会の模様、全国小学生スナッグゴルフ大会の会場となった宍戸ヒルズCC支配人の抱負、チャリティ資金募集のためスポンサーを訪れるボランティアスタッフの様子などが約3分の映像にまとめられて報道された。

日経新聞では約1ページに渡り報道されるなど、多くの新聞・雑誌に取り上げられ、活動に対して各方面からの問い合わせも増えている。

・文部科学省・「子どもの居場所づくり新プラン・地域子ども教室推進事業」始まる。

2003年12月に来年度の文部科学省の中心的な政策として「地域こども教室」の推進が報道され、2004年度には全国4千の小学校に開設するために70億円の予算が認められることとなった。

この事業は、近年子ども達に関わる重大事件の続発や青少年の問題行動の深刻化もたらしめている家庭や地域コミュニティの教育力の低下という緊急な社会的課題に対応し、将来の日本を創る心豊かでたくましい子どもを社会全体で育てるための事業である。

内容は小学校などを利用して、子ども達の活動拠点とも言うべき“居場所”を人為的に整備すること。具体的には、地域の大人達の力を結集して安全管理や活動のアドバイザーとしての役割を果たしてもらい、子ども達の放課後や終末におけるスポーツや文化活動などの体験活動や子ども達と地域住民との交流活動を実施するものである。この政策は、既に我々の活動に導入され、一部の小学校で校庭開放運動として先駆的に開始されており、板橋区・第9小学校、練馬区・石神井小学校や尼崎市・大庄小学校などのケースでスナッグゴルフが取り入れられており、去る3月16日にはキッズゴルフ・プロジェクトのスタッフが文科省を訪れ、生涯学習政策局生涯学習推進課の柴田課長及び同・子どもの居場所づくり推進室の西村氏と面談、「地域子ども教室」への支援・協力を申し入れた。この事業の目的達成にはスナッグゴルフによるゴルフの初歩的指導が最適であることと力説し、柴田、西村両氏の賛同を得ることが出来、何等かの方法で都道府県、及び市町村レベルの教育委員会にJGCの活動情報を伝達したい旨の発言があり、さらに「地域子ども教室」の専用ホームページなどでの紹介も検討していただけることとなった。

各地におけるスナッグゴルフ講習会等の開催

・静岡県森町においてスナッグゴルフ贈呈式及び指導者講習会を実施 (04.1.16)

静岡県周智郡森町の町役場において町長出席の下、スナッグゴルフ・コーチングセットの贈呈式が実施された。これは昨年静岡国体において森町に所在する葛城ゴルフ倶楽部が女子競技の会場に選ばれた事を記念して贈呈される事になったもので、森町教育委員会及び町内の4つの小学校にコーチングセット1セットが贈られた。また、贈呈式に引き続き町立体育館において、今後、スナッグゴルフが導入された際にスムーズに子供たちへの指導が行われる事を目的に指導者講習会が実施され、教育委員会職員、各小学校の先生、町の体育指導員、静岡県ゴルフ協会の人々など20名が参加した。指導者講習会はスナッグゴルフに関する理解をより深められるようLPGA会員の鈴木志保美プロを中心に座学と実技が実施された。また、指導者講習会に出席してスナッグゴルフに関する深い理解を持った人々を対象に、育成活動に積極的に参加してもらうために仮称・ゴルフチューターなどのネーミングの下に登録してもらい、JGCのホームページで公開する事を検討することとした。

・千葉県多古町で指導者講習会が実施された (04.2.3)

千葉県香取郡多古町にあるダイナミックゴルフ成田において、多古町の小学校教師、教育委員会職員、多古町ゴルフ部らの人々を集めて指導者講習会が実施された。この指導者講習会の背景は、約3年前の2001年に多古町教育委員会の主導で、多古町唯一の中学校である多古中学に、公立中学校としては全国でも珍しいゴルフ部が設立された事にある。それ以来、多古中学ゴルフ部は街の住民のボランティアで校庭に設営された8打席の練習施設や、12ホールのショートコースを持つゴルフ練習場・ダイナミックゴルフ成田や東京国際空港ゴルフ倶楽部の多大な支援により、殆ど無料で

練習できるなど素晴らしい環境に恵まれて、わずか2年数ヶ月で全国大会で8位にランクされるほどの実力をつけた。さらに多古町教育委員会では小学生の時からゴルフに親しめるように小学生対象のゴルフスクールを開設し、現在18名の小学生がダイナミックゴルフ成田で毎週練習に励んでいる。さらに小学生の間にゴルフの輪を広げるために、教育委員会はスナッグゴルフの採用を決め、町内にある6つの小学校にスナッグゴルフを導入して、低学年の内からゴルフに親しませようという考えを持つに至った。そのために町内6小学校の先生を集めてスナッグゴルフの指導法を学ぶための指導者講習会が実施された。ダイナミックゴルフ成田のインストラクター及びJGCのスタッフによる講習は、夕方から夜間にかけての開催にもかかわらず、35名の出席者があり盛況であった。多古町教育委員会はスナッグゴルフの購入を計画しているほか、現在、JGCが展開しているスナッグゴルフ寄贈企画に、教育委員会自らと6つの小学校校長名で応募している。

・ **多古町立第2小学校の児童がスナッグゴルフでラウンド初体験** (04.2.24)

多古町立第2小学校の5年生・6年生の児童35名が町内にあるダイナミックゴルフ成田のショートコースをスナッグゴルフで体験ラウンドした。これは多古町教育委員会の企画を基に実現したもので、ゴルフコースの自然の中でゴルフのエチケットやルールを学び、ゴルフプレーの初歩を身に付ける総合学習の時間の一環として2時間の授業が実施された。このラウンド体験授業が実現するまでに、第2小学校の児童たちは小学校の校庭で、校長先生をはじめとした指導者講習会に参加した先生方の指導、或いはキッズゴルフプロジェクトスタッフも学校に出向き指導し、約2週間間に10時間もの練習時間を費やした。

体験ラウンドの当日は多古第2小学校の先生その他、見学に来た他校の先生や近隣の市町の教育委員会関係者、児童の父兄、多古町役場や多古町教育委員会の人々、児童のラウンドに同行して指導してくれた多古町ゴルフ部や多古中学ゴルフ部の生徒たち、さらに、今回の企画の実現に多大な貢献をしてくれたダイナミックゴルフ成田のスタッフ達、取材に訪れた報道陣や手伝いに馳せ参じたJGCのスタッフを加えると何と65名の大人達が参加した。体験ラウンドが終わった児童たちの感想は「今度は白い球を打ちたい」「中学へ行ったらゴルフ部に入りたい」というものが多く、スナッグゴルフの体験が本物のゴルフに繋がる事が証明された。

この活動には、多古町に在る知的障害者更正施設「ひかり学園」の入園者も10数名が参加され、LPGA会員・菅原プロの指導を受け、嬉々とした満足な表情を見せてくれた。後日この学園を訪れた際、施設長のお話によると参加した全員が皆一緒にスナッグゴルフに興じる様子は他のどんなスポーツにも見られなかったことで、施設では早急に採用したいとのことだった。

・ **川奈ホテルで川奈小学校への贈呈式、6年生の体験講習会実施。** (04.2.27 & 3.11)

2003年静岡国体において川奈ホテルゴルフ場大島コース・富士コースが成人男子・少年男子の大会会場となったことを記念して、同ゴルフ場の地元である伊東市立

川名小学校にスナッグゴルフ・コーチングセット贈呈されることになった。
当日は川奈小学校を代表して森山浩一校長と6年生の女子児童2人がキッズゴルフ・プロジェクト アクションチームチェアマンの西田幾久彦氏より目録を受け取った。
尚、当日は静岡県ゴルフ連盟理事長の勝亦弘次氏、川奈会会長の杉本英世プロ、等が出席し、伊東市教育委員会からも数名の担当者が出席した。また、スナッグゴルフ・コーチングセットが届くのが3月中旬になり、6年生は卒業のためスナッグゴルフに触れるチャンスが無いことから、3月11日(木)に6年生だけのスナッグゴルフ体験講習会が川奈ホテルのご好意により、大島コース10番ホールを使用して実施された。この日は川奈会事務局長の杉本国昭プロが参加し、今後の川奈小学校におけるスナッグゴルフ講習会は杉本国昭プロを中心とする川奈会の男子プロによって行われる予定。

・西宮市で高橋勝成プロによるスナッグゴルフ体験講習会が実施。 (04.2.28)

兵庫県西宮市立苦楽園小学校でツアープロ高橋勝成選手が主宰したスナッグゴルフ体験講習会が開催された。これは高橋勝成選手が、ご子息が通われる苦楽園小学校と西宮市教育委員会にスナッグゴルフ・コーチングセットをそれぞれに1セットずつ贈呈したことにより実現したもの。西宮市教育委員会は市の広報を通じて参加者を募集、午前中は子供30人・大人20人、午後からは大人30人が集まった。

さらに、講習会には西宮市市長、教育長、県会議員、市会議員等行政関係者が参集して大いに盛り上がりを見せた。JGCは東京から講師として女子プロ2名を派遣、西宮市教育委員会及び高橋勝成プロに感謝された。

・兵庫県尼崎市立大庄小学校でスナッグゴルフ体験講習会が実施。 (04.3.6&7)

兵庫県・尼崎立大庄小学校の「スポーツ21おおしょう」の活動の一環として子ども約50名、大人30名が参加してスナッグゴルフ体験講習会が実施された。「スポーツ21」とは兵庫県の総合スポーツクラブづくり施策として尼崎市が市内の全小学校を対象に推進している政策で、開設のためのイニシャルコストとして800万円、毎年の運営費として5年間に渡り100万円の予算が各校に与えられる。内容はクラブハウスの準備が義務付けられているほか、多世代を対象にした多種目のスポーツを実施するよう指導されている。大庄小学校に拠点を置く「スポーツ21おおしょう」は昨年、スナッグゴルフ・コーチングセットを独自に購入し、多世代で楽しむスポーツとして最適なスナッグゴルフを実施種目にとり入れた。今回の体験講習会が2回目の実施になるが、前回同様、今回も指導講師は市内の大型ゴルフ練習場である尼崎テクノランドの小山寿美男支配人、石川敬史マネージャー、加古川市のゴルフ練習場である尾上ゴルフセンターの尾崎一也チーフディレクター、高砂市のゴルフショップであるヨコオゴルフの田中久佐雄等のコーチングスタッフがたった。この方々はそれぞれにレンタル用のスナッグゴルフ・コーチングセットを所有しており、普段から熱心にスナッグゴルフの普及に努力してくれている。さらに、尼崎市体育指導委員が数名手伝っているほか「スポーツ21おおしょう」の運営委員も多数参加しており、まさに地域を挙げてのスポーツイベントになっていた。

また、翌7日(日)には尼崎市の体育指導委員75名全員を集めたスナッグゴルフ体験講習会が実施された。さすがにスポーツになれている体育指導員だけに、レベルの高い講習会になった。彼等の推薦により尼崎市他の小学校を拠点とする「スポーツ21」へスナッグゴルフが導入される事が期待される。

・ **富山県ゴルフ連盟がスナッグゴルフを購入、普及活動に乗り出す** (04.3.8)

富山県ゴルフ連盟がジュニア育成活動をテーマに競技部会を開催した。昨年の小学生スナッグゴルフ関東大会を視察するなど、スナッグゴルフに対する関心が高かった富山県ゴルフ連盟はJGCから担当者を招き、ジュニア育成活動におけるキッズゴルフ・プロジェクトの現状報告を受けた。担当者から小学校側の受入れ状況が非常に積極的になっている現況を聞き、ゴルフに対する社会的評価が追い風になっている傾向を感じて、富山県ゴルフ連盟はスナッグゴルフを利用したジュニア育成活動に本格的に乗り出す事を決意した。早速、スナッグゴルフ団体用(3人~7人)セット4セットの購入を決め、連盟が管理しつつ各方面に貸し出す事を決めた。さらに、小学校や教育委員会との折衝のために今の競技部会だけでは人手不足が予想されるため、連盟内に別組織を立ち上げる事を検討することになった。

4 団体共同原資によるスナッグゴルフ贈呈計画の記者発表を実施、 (04.1.20)
及び有志から追加寄贈4セットの贈呈先内定

- ・ JGA(安西孝之会長)、PGA(長田力会長)、LPGA(樋口久子会長)、JGTO(島田幸作理事長)らが一堂に会して4団体共同原資によるスナッグゴルフ贈呈計画の記者発表が実施された。これは上記4団体が共同で原資を供出し、全国の小学校や教育委員会を対象にスナッグゴルフ・コーチングセットを贈呈しようというもの。

贈呈を希望する小学校や教育委員会から贈呈後の活動計画を提出してもらい、優れた計画を提出した8つの小学校や教育委員会が選ばれる。また、今回、選にもれた小学校や教育委員会に対しても、キッズゴルフ・プロジェクトの努力で更に贈呈原資が集まれば追加してスナッグゴルフを贈呈する。3月中には更なる追加措置として2~4の小学校や教育委員会に贈呈できる予定である。

・ **8セット+4セットのスナッグゴルフの贈呈先が内定** (4.3.19)

JGA・PGA・LPGA・JGTOの4団体が資金を出し合い、全国の小学校や教育委員会にスナッグゴルフ・コーチングセットを8セット贈呈する計画の贈呈先を検討する会議が開催された。1月20日に発表された計画に対して贈呈を希望して応募してきたのは小学校=25校、教育委員会=15委員会、その他=1合計41案件であった。いずれもスナッグゴルフの採用に関して非常に積極的な意欲にあふれた計画書が提出されたが、ゴルフそのものの普及に繋がる計画であるか 体育授業など定期的・継続的に使用される計画であるか ジュニア育成活動に苦戦をしている地域を優先する 指導者の熱意等々を基準に慎重に審議した結果下記の8つの贈呈先を内定した。わずかな確認事項が確認できれば、早々にJGAホームページに掲出して発

表する。さらに、計画発表後にJGCに寄せられたチャリティ基金（匿名希望の方＝1セット、JGCセミナー講師一同＝1セット、ゴルフチャンネルを支える会＝2セット）により贈呈先が拡大できることになり、今回応募してくれた41案件の中から選択して贈呈することになった。追加分の4セットを含む12セットの贈呈先は以下の通り。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1．兵庫県神戸市立長田南小学校 | 7．千葉県香取郡多古町教育委員会 |
| 2．兵庫県加古川市教育委員会 | 8．青森県大鰐町教育委員会 |
| 3．北海道夕張郡長沼町教育委員会 | 9．愛知県刈谷市立高原小学校 |
| 4．広島県広島市立三篠小学校 | 10．島根県平田市教育委員会 |
| 5．沖縄県那覇市教育委員会 | 11．東京都中央区立常盤小学校 |
| 6．三重県安芸郡芸濃町教育委員会 | 12．東京都足立区立梅島第一小学校 |

なお、さらにJGCにチャリティ基金が寄せられ場合、贈呈者に特別の希望が無い限り今回選にもれた贈呈希望者を優先して贈呈して行くことになった。

JGCのNPO法人化にむけた設立総会の開催。 (04.2.10)

日本ジュニアゴルファー育成協議会が特定非営利活動法人(NPO)としての法人格を取得するために、設立総会が開催された。安西孝之JGA会長をはじめNPO法人格取得時の正会員予定者30数名が出席した。席上、10名の理事が選出され、選出された理事の互選により前川昭一現日本ジュニアゴルファー育成協議会議長が理事長に選ばれた。さらに、議題として平成16年度及び平成17年度の活動計画と予算案が提出され、全員一致で承認された。承認された案件は直ちに書類にまとめられ、管轄官庁である東京都に提出し、特定非営利活動法人(NPO)の認証申請を行った。認証の結論は6月頃になる予定。

JGCがジャパングルフフェア2004に参加

・ブース出展 (04.2.26~28)

東京・有明のビッグサイト(国際展示場)で開催されたの「第38回ジャパングルフフェア2004」(社)日本ゴルフ用品協会主催)に参加、JGCの活動全体を分かりやすく表現した展示ブースを展開した。これはJGCを構成するゴルフ関連10団体の費用的な応援を受け、主催者のゴルフ用品協会の多大なご協力を受けて実現したものの。3m×10mの展示ブースには10団体からのメッセージボードをはじめ、日本のジュニア育成活動を示すパネル展示、キッズゴルフ・プロジェクトの活動の軌跡を示すスライドと写真、世界のジュニア育成活動の現状報告等が展示された上、スナックゴルフやオーストラリアから取り寄せたゴーゴーゴルフ、イギリスから取り寄せたトライゴルフ、製造社のご協力を得て、現在市販されているジュニア用ゴルフ用品などの現物を展示した。さらに、ブース来場者への配布物として日本のジュニア育成活動の現況をデータで示すデータブックを作成した。

展示制作のコンセプトを「子どものお城」としてイメージした展示塔を作成したりして、カラフルで楽しい展示を心がけたためJGCの展示ブースは大変好評で、NHKの「ニュース10」はわざわざJGCブースの前でインタビュー取材をしたり、展示してあるスナッグゴルフで遊ぶ子どもを取り上げたりして放映していた。

JGCブースを訪れる人も多く、ジュニアゴルファーの育成を感じながらも、「その方法が見出せなかった。」「本物のゴルフ用具を使用して育成しつつも場所等制約が多すぎて思うように進まない」等々のご相談多く、今後の協力体制の確立、情報交換をお約束することが多く、用意した配布物が足りなくなるほどであった。

土曜日の一般ゴルフファンへの開放日には家族連れで訪れて、スナッグゴルフやトライゴルフで遊ぶ子ども達が引きも切らず、ブース内は殆ど幼稚園状態であった。多くの人にジュニアゴルファーの育成の必要性をアピールできた。

・ **ジャパングolfフェア開催時に会議棟にてJGCセミナーを開催。** (04.2.28)

ジャパングolfフェア開催期間最終日に、JGCとして初めてのセミナーを開催した。

『ゴルフ・底辺拡大を目指して～ジュニアゴルファー育成活動の現場から』とタイトル付けられたセミナーは、子ども達の健全な育成のツールの一つとして、さらに不良化防止策としても効果あるゴルフを楽しく体験できる環境を作り、ゴルフを通じて子供たちに社会のルールを指導しようというJGCのミッション・ステートメントそのもの。内容は千葉県多古町の社会教育指導員・並木昭靖氏の基調講演とジュニアゴルファー育成の現場で活躍する5人のパネリストによるパネルディスカッションで構成された。東京ビッグサイト609会議室の100名のキャパシティを超える132名の聴講者が全国各地から集まり、2時間半を超える活発なディスカッションとも相俟って大変な熱気。我々の活動と目指す目標に対してのご理解をいただけたものとの確信と共に、全国各地にジュニアゴルファー育成にご尽力される多くの方々の貴重なご意見も拝聴することが出来た。

セミナーの内容を詳細は省略するが、ご希望の方は記録ビデオで内容をご確認いただきたい。(JGCにお申し込み下さい)

開会挨拶 前川昭一(日本ジュニアゴルファー育成協議会議長)

【基調講演】^{なみき}並木 ^{あきやす}昭靖(千葉県多古町教育委員会 社会教育指導員)

元多古中学校校長。3年前、多古中学校に公立中学としては珍しいゴルフ部を創設。ゴルフ場、ゴルフ練習場などの協力を得て、町を挙げての応援体制を作り上げる。子ども達と地域の大人達のコミュニケーションを活発化し、学校崩壊などの社会問題を防ぐ。さらに、昨年小学生対象のゴルフ教室を開始。

【パネルディスカッション】

パネリスト ^{こもの としあき} 野 利昭 (PGA会員 沖縄県ゴルフ協会ジュニア育成委員長)

那覇市立壺屋小学校に公立小学校としては全国初のゴルフ部を設立、
現在、スナッグゴルフの指導も開始している。沖縄県のジュニア育成
活動の基礎を築く。

^{まきあか みつひろ} 横岡 充浩 (PGA会員 板橋第9小学校フラットナイン指導者)

地域による子どもの居場所づくり「いきいき寺子屋」事業の一環にス
ナッグゴルフによるゴルフ指導を導入。現在、ボランティアとして子
ども達を定期的に指導している。

^{すがの ゆうこ} 菅野 有子 (LPGA会員 エパックファミリーゴルフスクール校長)

筑波大学大学院で学んだ児童心理学を生かして、子どもの教育面を重
視したゴルフスクールを主宰。畑仕事をするなど、自然に親しみなが
らファミリーでゴルフを楽しむ機会づくり。

^{あおき かつみ} 青木 克益 (立教大学体育会ゴルフ部監督)

スナッグゴルフを小学校の体育授業に取り入れ、昨年の全国大会で立
教小学校を優勝に導く。立教大学ゴルフ部強化のため、小・中・高・
大学の一貫した選手育成を計画中。

^{なみき あきやす} 並木 昭靖 (前述)

コーディネーター 角田武夫 (日本ジュニアゴルファー育成協議会)
閉会挨拶 西田幾久彦 (キッズゴルフプロジェクト・チェアマン、
日本ジュニア育成協議会副議長)

- 以上 -

内容詳細に付きお問合せの際は下記宛ご連絡ください。

JGC・日本ジュニアゴルファー育成協議会

住 所：東京都中央区京橋 1-12-5 京橋YSビル

日本ゴルフ協会内

T e l : 0 3 - 3 5 6 6 - 0 0 0 3

F a x : 0 3 - 3 5 6 6 - 0 1 0 1